



施設長トーク 悲しい事件が・・・

新年度の4月を迎え、新しい気持ちでスタートしたところだが、年度末に起こった事件が心の中で尾を引き、すっきりしないのである。事件は、3月20日に起きている。北九州市八幡西区のアパートで、「娘の介護に悩み、母親が殺害してしまった」事件である。娘さんには、生まれつき重度の知的障がいがあり、二人暮らしで相談する相手もおらず、思い詰めてやってしまったと報道されていた。母親自らが「娘を殺した」と110番、署員が駆けつけたが部屋で亡くなっていたとのことである。障害者総合支援法に基づくサービスを利用するための認定手続きを進めている最中だったというが、何とも耐え難い悲しいニュースである。娘であっても人を殺せば殺人罪に問われる。それをわかって娘に手をかけてしまった母親の気持ち・・・思い切って安楽死を・・・と思う母親もいることかもしれない。しかし、先ほども述べたが人を殺めれば殺人罪、どんな理屈があってもそうである。福祉の手は、どこまでその家族に届いていたのだろうか。情けなさとしさと怒りさえ覚える。私たちの目の前に同様のことが起きるのかもしれないと思うと、今やっている仕事のむなしさを感じずにはおれない今日この頃である。何ができるかを考え、助けを求めている人に助けができる制度を早く、そして迅速に提供できる制度を真剣に考えたいものである。



多機能型障がい福祉サービス事業所「えーる油山」管理者 小関 正利



～ごあいさつ～



1年間という短い期間でしたが、大変お世話になりありがとうございました。えーる油山で仲間・保護者の方々・職員と一緒に過ごすことができ、私の中で新たな仲間や同志が出来たことを嬉しく思います。

私は、この4月からグループホームへ異動となり、仲間たちの「暮らし」の支援が仕事となります。初めてのことなので不安もいっぱいですが、新たな仲間と一緒に頑張っていきたいと思います。えーる油山の皆さんも一人ひとりが自分の力を信じて、輝けることを沢山作っていきましょう。サービス管理責任者 藤 環



はじめまして。4月にグループホームすてっぷから異動してきました佐々木篤(ささきあつし)です。藤さんに替わりサービス管理責任者をいたします。

「障がいがあっても、地域の中でふつうの生活の実現を」をみんなで見守ります。

ひとり一人の仲間がここ油山で活躍する主人公になれるように支えていきたいと思っています。どうかよろしくお願いたします。サービス管理責任者 佐々木 篤

* 支援部だより *

今月入所する9名の仲間を迎えるにあたり、座席や棚の配置など支援員間でミーティングを重ねてきました。日中、仲間自身が生き生きと過ごすことができる「居場所」となれたり、仲間の主体的な行動を伸ばせたりできればと思っています。今後は、環境設定などまだまだ工夫していきたいと思っています。支援部 岡村

◇4月の予定

- 6日 ハローデイ春日店バザー
- 8日 えーる油山入所式
- 11日 ハローデイ橋本店バザー
- 13日 ハローデイ姪浜店バザー
- 20日 ハローデイ周船寺店バザー
- 27日 ボンラパス薬院店バザー